

MINATOビジョン・タウンフォーラム
環境・リサイクルグループ（第4グループ）

会議録（第3回）

■開催日時・場所・出席者

日 時 : 令和7年10月20日（月）18時30分～20時30分

会 場 : 港区役所9階 914会議室

メンバー : 9名（欠席者5名）

【内訳】対面参加8名、オンライン参加1名

事務局 : 企画課グループ担当2名、サポートメンバー2名

所管課長3名（環境課長、地球温暖化対策担当課長、みなとりサイクル清掃事務所長）

委託事業者3名（うちファシリテーター1名）

傍聴者 : 0名

■次第

（開会）

- 1 事務局より連絡
- 2 区の将来像のたたき台に関する議論
 - ・分野別の将来像
 - ・区全体の将来像
- 3 事務局より連絡

（閉会）

■配付資料

- 資料1 第3回グループ会議進行資料
- 資料2-1 区全体の将来像案
- 資料2-2 分野別将来像案
- 資料3 MINATOビジョン・タウンフォーラム報告会について

■貸与資料

なし

■会議要旨

(開会)

リーダーが、第3回グループ会議開催の挨拶及び開会宣言を行った。

1 事務局より連絡

事務局が本日の流れを説明した。第2回でメンバーから出た意見を踏まえ、タブレット端末を用いた会議となる旨を説明した。

2 検討テーマに関する議論

ファシリテーターが、グループワークの進め方、ねらいについて説明した。

(1) 分野別の将来像について

(主な意見等)

【タイトル部分】

参加者：リード文に「一人ひとりの行動」や「一人ひとりのアクション」とあるが、その下の3つのタイトルには出てこない。リード文の「一人ひとりの行動が」より「一人ひとりの意識と行動が」とした方がよい。

参加者：「一人ひとりの行動が未来を変える。」とあるがこれだと個人だけに感じてしまう。企業や行政など様々な主体が関わる意味にした方がよい。

参加者：リード文に「一人ひとりの行動が未来を変える。」「一人ひとりの小さなアクションが、未来を大きく変えます」とあるが似たような表現になっている。もっと問いかける表現にしてはどうか。「15年後も住んでいたいと思うまちにしませんか」といった呼びかける言葉にしてはどうか。

【脱炭素型のまち】

参加者：温暖化はCO₂の問題があるが、メタンなど他にも要因がある。脱炭素以外の取組も推進すべきではないか。

参加者：現状CO₂が大きな要因を占めているので、脱炭素にフォーカスしても違和感はない。

参加者：これまでのタウンフォーラムの中で「再生エネルギー100%」という言葉がでてきた。これを使っても良いのではないか。

参加者：「エネルギーステーションが街中にあり、環境負荷の少ない電気自動車や水素自動車などが当たり前になっています」とあるが、そうすると再生可能エネルギーというものが重要になってくると思う。日本はエネルギー自給率が低い。高めていくためには再生可能エネルギーが必要。再生可能エネルギー100%を目指していくことは重要だと考える。

参加者：「脱炭素型のまち」より「温暖化ストップのまち」の方が良いのではないか。

参加者：読む人を考えると「脱炭素型」の方が何をするか分かりやすく良いのかもしれない。

参加者：「脱炭素」より「温暖化」の方が広くなじみはあるかもしれない。

参加者：「脱炭素」というと原子力も含まれる。より目指すところを明確にするためには「再生可能エネルギー」というワードが重要ではないか。

参加者：再生可能エネルギーの活用となると他の地域で作られた電力を購入するといったことも考えられる。その他の地域でつくられた再生可能エネルギーが自然破壊をしてつくられたものだったら意味がない。

事務局：「脱炭素型のまち」という小タイトルに対して「再生可能エネルギー」「脱炭素」「温暖化ストップ」のいずれかことばにするか事務局預かりにしてほしい。

参加者：水素自動車や電気自動車だけでなく、自転車などエコフレンドリーな手段も入れてほしい。

事務局：自転車についてはまちづくりのグループの中で取り扱うという整理にしている。

【自然と共生するまち】

参加者：「自然と共生するまち」だけでは不十分。港区の特徴は大都市でありながらそこで自然と触れ合えることである。また、緑や水辺に触れているがもう少しインパクトがほしい。例えば「緑被率 50%」「緑被率 NO1」や「家族が水辺で楽しめるまち」、「再生可能性エネルギーの導入により空気がきれいなまち」というニュアンスを入れてほしい。

タイトルについては「都市と自然が共生するまち」ではいかがか。

また、運河や水辺を生かすといった要素を追加してほしい。

参加者：「自然保護」とあるが、自然をしっかりと活用していくのであれば「自然保全」が良いのでは。

【3Rでごみのない社会】

参加者：一人ひとりができることは3Rだと思う。また浸透させていくためには教育が重要である。

参加者：食品ロスの削減については企業努力も重要。企業を促すことを行政には期待したい。

参加者：「ごみのない社会」とあるが実現不可能ではないか。重要なのは無駄なく循環させていくことなので「3Rで循環型社会」などはいかがか。

参加者：「循環」という言葉は良いと思う。

参加者：リデュース、リユース、リサイクルの順番が良いのでは。順に環境への影響が大きくなる。

【全般】

参加者：文章が長いので箇条書きでも良いのではないか。

事務局：文章を問いかけの形にするか、箇条書きにするかなどは、他とのグループとのバランスも考える必要がある。

(2) 区全体の将来像について

(主な意見等)

【港区のこれまで】

参加者：概ね問題ないと思う。港区に描いているイメージのとおりである。端的にまとめられているかと思う。

参加者：プラスのことが多いが、再開発など課題はあるかと思う。良いことばかり書いているがこれまで長く港区に住んでいた立場からするとそうではない。再開発が進み商店会が廃れ、地域コミュニティが縮小するなど課題はたくさんある。運河の水質は微生物がきれいにしてくれる面もあるのに、洗剤を流すことで微生物が減少し、環境の悪化につながっている。行動につながりがあることを意識してもらいたい。

参加者：昔から住んでいる人と新しく住み始めた人など、人によって感じ方の違いはあるかもしれない。

参加者：港区と分かるような表現を入れてほしい。増上寺や東京タワーなど。

参加者：具体的なシンボルを入れたほうがよい。寺社仏閣や歴史など。

参加者：港区では坂にも名前がついている。

【2040年代の港区の将来像】

参加者：リード文に「歴史と最先端」とあり対比の関係にしたいのではないかと思うが、歴史を守るために最先端を活用したりもするので、対比ではないのではないか。

参加者：そうすると「歴史と未来」などの言葉ではいかがか。

参加者：トプランナーの意味が分からない。何のトプランナーを記載した方がよい。

参加者：トプランナーは変化を起こしている。「リードしている」といった表現が良いのでは

参加者：「時代をリードしてきた」などはいかがか。

参加者：「地域から世界へ広がるまち」が何を意識しているか分かりにくい。文章をみるとグローバル化の側面がありながら、ローカルな関係性も構築できているということだと思うが、小タイトルでは伝わってこない。

【2040年代に向けて大切にしていこう】

参加者：今町会・自治会を大切にできていない。隣近所の付き合いを重視することを盛り込みたい。特にマンションなど引っ越してきた際に挨拶することも少なくなっている。

参加者：安全面や、通信手段の発達など社会背景が変化し、ご近所付き合いのあり方も変わっている。

参加者：女性だと一人暮らしであると周囲に知られることがリスクなので、引っ越しの際に近所に挨拶に行かないこともある。

参加者：「一人ひとりの幸せを願う」が何のことを言っているのか分からない。

3 事務局より連絡

第3回グループ会議における修正事項については、事務局で修正案を作成し、最終決定はリーダーに一任することとした。

また、MINATOビジョン・タウンフォーラム報告会の日時や概要について確認した。報告会にて予定している将来像の発表に当たり、各グループ数名に発表いただく旨を説明し、発表者を決定した。

(閉会)

リーダーが閉会を告げ、終了。

以上